

山村強靱化林道整備事業 神田川線 (石川県輪島市)



林道神田川線 (起点)



林道神田川線 (終点)



<事業の目的>
 近年、豪雨・台風災害が激甚化・頻発化する中で、持続的な森林経営の実現に向けて強靱で災害に強い幹線林道において早急に整備を行う。

<林道神田川線> 改良 (のり面保全・局部改良)
 輪島市街へと注ぐ神田川沿いに位置し、能登半島の豊富な森林資源を効率的に整備する目的で開設された林道である。林道を介して県道同士を接続しており、災害時のライフラインとなる重要な路線としての機能を維持するため、法面と路肩の脆弱な箇所を改良し、通行車両の安全性を確保する。

【整備箇所】 のり面保全

<被害状況>
 近年の豪雨等により法面崩壊が発生しており、今後の豪雨によりさらに崩壊が拡大するおそれのある状況




<整備方針>
 法面安定対策としてモルタル吹付工により法面を整備し、車両の通行安全性を確保



完成イメージ

【整備箇所】 局部改良

<被害状況>
 近年の豪雨等により路肩盛土が流出し、今後の豪雨により路体まで流出する危険のある状況




<整備方針>
 重力式擁壁により路肩を整備し、車両の通行の安全性を確保



完成イメージ

山村強靱化林道整備事業

林道神田川線（輪島市）

< 起点 > 県道1号七尾輪島線

< 終点 > 林道大箱鉢伏線

→ 県道276号五十里深見線



緊急時の避難路として

起点側

河川の氾濫による集落の水没

